



工藤市長から推載書を受け取る井須氏

9月16日から16日間の会期で開催された市議会定例会では、工藤市長の「一般行政報告」のほか9月補正予算の審議などが行われました。

※一般行政報告は、全文を一部要約して掲載しています。

稚内市名誉市民称号贈呈式

本市としては7人目の名誉市民である「井須孝誠氏」に対し、名譽市民称号の贈呈式を8月25日に挙行しました。

この贈呈式には、武部勤前衆議院議員をはじめとする来賓と、各界から多くの関係者にご臨席をいただき、その皆さん前で、推戴書、名譽市民章などの贈呈をさせていただきました。

稚内西小中学校の閉校

稚内西小中学校は、明治33年に、稚内尋常高等小学校潤内分教場として開設して以来、14年の歴史をもち、これまで地域に根差した教育が行われ、小学生2,440名、中学生1,322名の卒業生を送り出し、多くの優秀な人材を育成、輩出しています。

また、昭和33年には、在校生が312名を数えるなど、多くが、その後、人口減少や少子化



閉校が決まった稚内西中学校校舎

ユジノサハリンスク道北物産展2014及び友好都市の訪問



たくさんの人が賑わった道北物産展2014

去る9月6日と7日の2日間、サハリン州ユジノサハリンスクにて開催された「道北物産展2014」と「友好都市の訪問」に参加しました。このイベントは、サハリン州と北海道との間の経済交流を目的としたものです。

この物産展に対する地元住民の期待の大きさが伺えました。この道北物産展は、サハリンへの商品販路開拓のため、大変貴重な機会と捉えていましたので、今後の開催についても、しっかりと各関係者と協議していくことを考えていました。

また、この物産展に合わせて、友好都市であるネベリスク市とコルサコフ市も訪問しました。地域からの要望、そして教育委員会と地域、保護者が話し合いを続けてきました。

そうした経過もあり、7月に、地元町内会とPTAから、学校閉校に関する要望書が提出されました。この道北物産展に対する期待の大きさが伺えました。

今年は、昨年から大幅に増便となり、発着空港も名古屋に加え、松本、静岡、山形、新潟の5つの空港からの運航となり、企画されたツアーは、昨年の3倍で、全体では3,360名の送客がありました。

ツアーディレクターは、昨年の泊となつてることを考えれば、地域全体で7,000泊以上宿泊していただいたことになり、宿泊業界をはじめ関連業界にも、大きく貢献していただいたものと考えています。

また、7月21日には、利尻・礼文両島や、サロベツ原野などを観光しました。この地域は、豊かな自然環境と美しい海岸線で知られており、多くの観光客が訪れます。



FDA稚内チャーター便の就航実績

今年のFDAによるチャーターバイにつきましては、6月13日から8月18日までの間に、52往復104便が就航したところです。

今年は、昨年から大幅に増便となり、発着空港も名古屋に加え、松本、静岡、山形、新潟の5つの空港からの運航となり、企画されたツアーは、昨年の3倍で、全体では3,360名の送客がありました。

ツアーディレクターは、昨年の泊となつてることを考えれば、地域全体で7,000泊以上宿泊していただいたことになり、宿泊業界をはじめ関連業界にも、大きく貢献していただいたものと考えています。

また、7月21日には、利尻・礼文両島や、サロベツ原野などを観光しました。この地域は、豊かな自然環境と美しい海岸線で知られており、多くの観光客が訪れます。

平成26年9月市議会定例会より く工藤市長の一般行政報告く